

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	特別支援教育就学奨励援助事業		
事業担当	学校教育部 教育総務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'04	4 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる	
根拠法令等	盲学校・聾学校及び養護学校への就学奨励に関する法律		
対象・受益者	特別支援学校に就学する児童・生徒の保護者	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者に対し、その負担能力の程度に応じた援助をすることで、保護者の経済的負担を軽減します。		特別支援教育を円滑に受けることができるようにするため、特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者に対し、その負担能力に応じた援助をします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	支給認定件数				単位	人
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	145	150	150	150		
	実績	146	140	135			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	適切に援助が行われている割合				単位	%
	説明・算定式	支給件数÷援助対象件数×100					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	100	100	100	100		
	実績	100	100	100			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し制度を周知し、申請に基づく認定審査を行い、認定した保護者に就学奨励費を支給し、保護者の経済的負担を軽減することができました。							
平成24年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	法律に準じて補助を行うものであり、市の教育委員会で行う必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業を継続し、保護者の経済的負担を軽減することにより、児童生徒の就学の機会を確保することができます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	特別支援学級に通う児童生徒の保護者に対し、世帯の所得区分に応じた援助をするもので妥当と考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	国庫補助事業(市の単独事業一部有り)であるため、国の基準に合わせることからコスト削減はできません。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		この事業は国庫補助事業であり、国の要綱に準じた事業実施をするため、要綱の内容を正しく把握し適正な事業を実施する必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		就学奨励費の援助	就学奨励費の援助	就学奨励費の援助	就学奨励費の援助
財源内訳	国庫支出金	1,438	1,333	1,183	2,226
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	3,459	3,289	3,058	3,331
事業費 (A)		4,897	4,622	4,241	5,557
執行率 (%)		99.86	84.04	73.41	
内訳	職員 (人)	0.30	0.35	0.35	0.26
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,478	2,837	2,806	2,067
フルコスト (A+B)		7,375	7,459	7,047	7,624

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	事業を適正に実施するための検討を進めるとともに、引き続き適切な援助を行います。
課長コメント	特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図るため事業を継続していくことが必要と考えます。